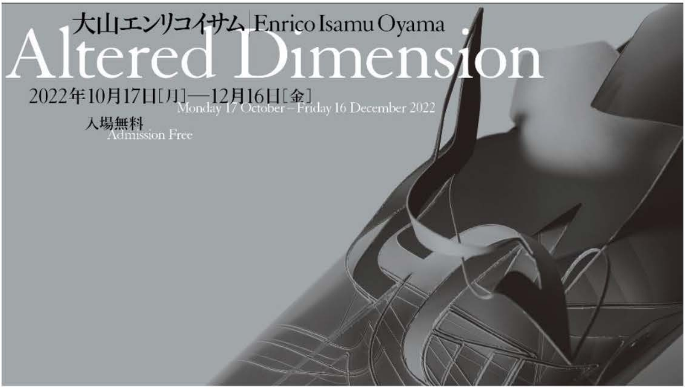
Campaign Preview HTML Source Plain-Text Email Details

View this email in your browser

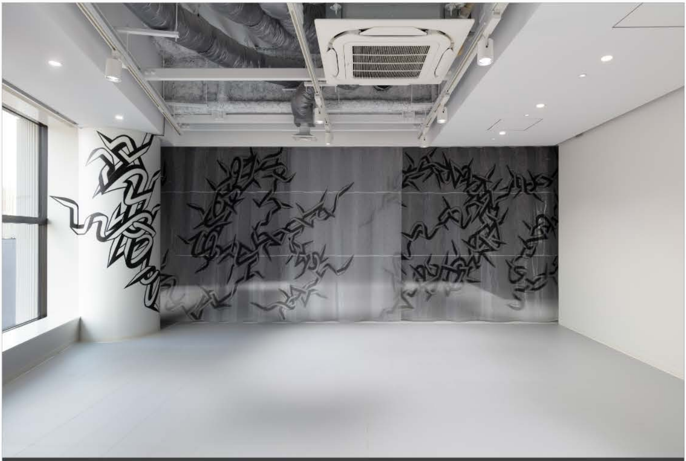
KeMCo


大山エンリコイサム Enrico Isamu Oyama
Altered Dimension
2022年10月17日[月]—12月16日[金]
Monday 17 October – Friday 16 December 2022
入場無料
Admission Free

10/17（月）から、美術家・大山エンリコイサム氏の新作を中心とした展覧会「大山エンリコイサム Altered Dimension」が始まります。
大山エンリコイサム氏は志木高出身の慶應義塾の卒業生でもあり、8F KeMCo StudI/Oには、KeMCo開館時に制作いただいたアートワークも設置されています。会期中は土曜開館などのほかに、関連イベントなども開催される予定です。
お出かけするには気持ちの良い気候となってまいりました。授業の合間やお仕事の帰りに、ぜひご来館ください。

KeMCoの近況

【次回展 10/17~】「大山エンリコイサム Altered Dimension」



FFIGURATI #314, 2020 ©Enrico Isamu Oyama Photo ©Shu Nakagawa

都市のさまざまな空間に名前をかき残していくライティング文化に関心を寄せ、エアロゾル・ライティングの文字形体を抽象化し再解釈した独自のモティーフ「クイックターン・ストラクチャー（QTS）」を展開する美術家・大山エンリコイサム。
大山の問題意識のひとつとして、QTSにおける正面性の問題がありますが、近年はそこから派生し、平面と立体、二次元と三次元の揺らぎのなかに生じる重なりやずれへとその関心を広げています。また、QTSが横断する支持体の素材や、その組み合わせによって、知覚を揺さぶるような実験的制作にも取り組んでいます。
新作を中心とした本展覧会では、単純に切り分けることのできない次元のつらなりや、システムの乱れから生じる事象を通して、QTSの新たな造形を引き出そうとする大山の思考に迫ります。

展覧会「大山エンリコイサム Altered Dimension」

日時｜2022年10月17日（月）～12月16日（金）
月火水＝ 11:00–17:00、木金＝ 11:00–19:00　[土日祝休館]
※特別開館｜11月5日（土）、12月3日（土）11:00–18:00
※臨時休館｜11月7日（月）、12月5日（月）
場所｜慶應義塾ミュージアム・コモンズ
対象｜どなたでもご覧いただけます
費用｜無料

大山エンリコイサム　Altered Dimension

【開催終了】KeMCo Talk 3
「#ちょっとKeMCoまで ——大学ミュージアムってどんなところ？」

9/2（金）にKeMCo 1FエントランスでKeMCo Talk3「#ちょっとKeMCoまで」が開催されました。
イベントではKeMCoの学芸スタッフ4名が登壇し、前半は大学ミュージアムやKeMCoについての紹介から始まり、後半は参加者の皆さんやオンラインで寄せられた質問にそれぞれ答えました。また、KeMCoの収蔵庫前室「オープン・デポ」の見学も行われました。

「大学ミュージアムならではの取り組みはありますか？」「地元コミュニティとの関係の構築や深化をどのように深めていきますか？」など、寄せられたご質問はnoteにまとめておりますので、ぜひご覧ください。

#ちょっとKeMCoまで

Feedback

Open Storage! #08

KeMCo StudI/Oが、撮影スタジオの機能を持っていることをご存知でしょうか。暗幕で仕切られた小さな空間には、高解像度のデジタルカメラや、照明機材、接写台などの充実した設備が整えられています。KeMCoでは文化財の撮影を専門とするカメラマンをお呼びして定期的に撮影を行い、データはKeio Object Hubといったデータベースの構築など、様々に活用しています。

しかし、一口に文化財をデジタル化すると言っても通常の撮影との違いは分かりにくいでしょう。そこでKeMCoでは「KeMCo StudI/O 撮影オープンデイ」と題して、義塾の研究室・教職員がお持ちの作品や資料をスタジオ撮影していただく企画を実施しました。参加者の中には、画像では肉眼では捉えられない文字や修復痕がよく見えることから研究への活用の可能性を見出した方もいれば、作品の持つ物質感を捉えたいという声に応えて、照明を工夫するといった場面もありました。

KeMCoのもつ撮影リソースを義塾全体に開く実験的な試みではありましたが、文化財を起点とした交流も生まれ、充実した機会となりました。次年度以降もこうした取り組みを継続したいと考えていますので、その際にはぜひ見学に来てください！

山田　桂子（KeMCo学芸員補）

空き地

「慶應義塾のミュージアム」というと、お固い印象を持たれる方もいらっしゃると思いますが（実際にそのような声も聞きました…）、KeMCoのオフィスはいつも和気藹々とした雰囲気でお仕事をしています。そんなKeMCoの「声」も含めてお伝えするニュースメール「KeMCo Voice」も今号で25号目。情報をリアルタイムに手に入れることのできるこの時代に、月1回のメールマガジンを発行する意味を考えながら創刊号から編集を担当してまいりました。

9月でKeMCoを卒業することになり、このメールマガジンの編集をするのも今号で最後になります。正直なところ寂しいですが、もっとKeMCoを身近に感じていただけるようなマガジンになればよいと思っています。

これからもKeMCoとKeMCo Voiceをどうぞよろしくお願いいたします。

久保山彩華（KeMCo事務員）

お知らせ

【KeMCo休館中】展示替え休館中のKeMCoご利用方法

慶應義塾ミュージアム・コモンズ（KeMCo）は現在、**次回展示準備のため休館中**です。KeMCoやKeMCo StudI/Oにお問い合わせがございましたら、お手数ではございますがウェブサイトよりご連絡いただきますようお願いいたします。

※KeMCoやKeMCo StudI/Oへご用事のある方は、事前にフォームよりご相談ください。

三田でご覧いただける展示

「アート・アーカイヴ資料展XXIII 槇文彦と慶應義塾 II：建築のあいだをデザインする」
10/3（月）–12/6（金）
主催｜慶應義塾大学アート・センター
会場｜慶應義塾大学アート・スペース

開催中の展覧会

第34回慶應義塾図書館貴重書展示会「文人の書と書物 —江戸時代の漢詩文に遊ぶ—」
10/5（水）–10/11（火）
主催｜慶應義塾図書館
協賛｜丸善雄松堂株式会社
協力｜慶應義塾大学附属研究所斯道文庫
会場｜丸善・丸の内本店4階ギャラリー（入場無料）

KeMCo Voiceでは皆様のご意見・ご感想を募集しております

KeMCo Voiceやミュージアム・コモンズへご意見・ご感想がございましたら、以下のアドレスまでお寄せいただければ幸いです。
いただきましたご意見は匿名でご紹介させていただく場合がございます。紹介をご希望でない場合はその旨をお書き添え下さい。

> ご意見・ご感想はこちら

次回のKeMCo Voiceは2022年11月に配信予定です。
過去のニュースメールはこちら

Copyright © 2019-2022 慶應義塾ミュージアム・コモンズ　Keio Museum Commons

〒108-8345　東京都港区三田2-15-45

Tel:　03-5427-2021　Fax:　03-5427-2022
お問い合わせ

KeMCo Voiceの配信停止をご希望の方はこちら

This email was sent to << Test Email Address >>
why did I get this?　unsubscribe from this list　update subscription preferences
慶應義塾ミュージアム・コモンズ · 2-15-45Mita · Minato-ku, Tokyo 108-8345 · Japan